

サーモスタット付シャワーバス水栓

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

GBGA 147T 型
GBGB 147T 型
GBGA 147TA 型
GBGB 147TA 型

1. 施工の前に

安全上のご注意

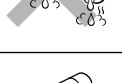
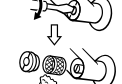
- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注 意 … 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
… 「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

… 「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。) … 「分解してはいけません！」 (分解禁止)
… 「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

注 意

	湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
	給湯器の温度設定は60℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	【寒冷地用の場合】水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。	
	修理技術者以外の方は水栓を分解したり、修理したりしないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
	お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
	目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 ※使用条件によって目盛り通りの湯が出ず、ヤケドをすることがあります。	
	ストレーナーの掃除をする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。 ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	

本製品の仕様と使用条件

給湯器温度設定	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】 0～40℃ 【寒冷地用】 -20～40℃		但し、内部の水を凍結させないでください。
給水給湯接続	PJ1/2	取付ピッチ	120～210mm
圧 力 条 件	0.1MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力 ※2		

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。
※2 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

ガス給湯器（比例制御式：16 号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A+0.1MPa（スプレーシャワー）
最 高 圧 力	0.75MPa（静水圧）

- ※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
測定条件は次の通りです。
- 開閉ハンドルは全開です。
 - 給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬季を想定)。
 - 給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。
 - ガス給湯器の設定温度は最高温です。

貯湯式給湯器と組み合わせる場合

- 十分なシャワー流量が得られないため、組み合わせはおすすめしません。
- 給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。
- 給湯圧力が温水器の減圧弁によって0.08MPa以下に設定されている場合があります。この場合は別売の加圧ポンプにより給湯圧力を最低必要圧力まで上げていただく必要があります。
- 給湯圧力は水栓直前における流動時の圧力です。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で適正圧力（0.20～0.34MPa程度）に減圧してください。
- 十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下にしてください。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**にしてください。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

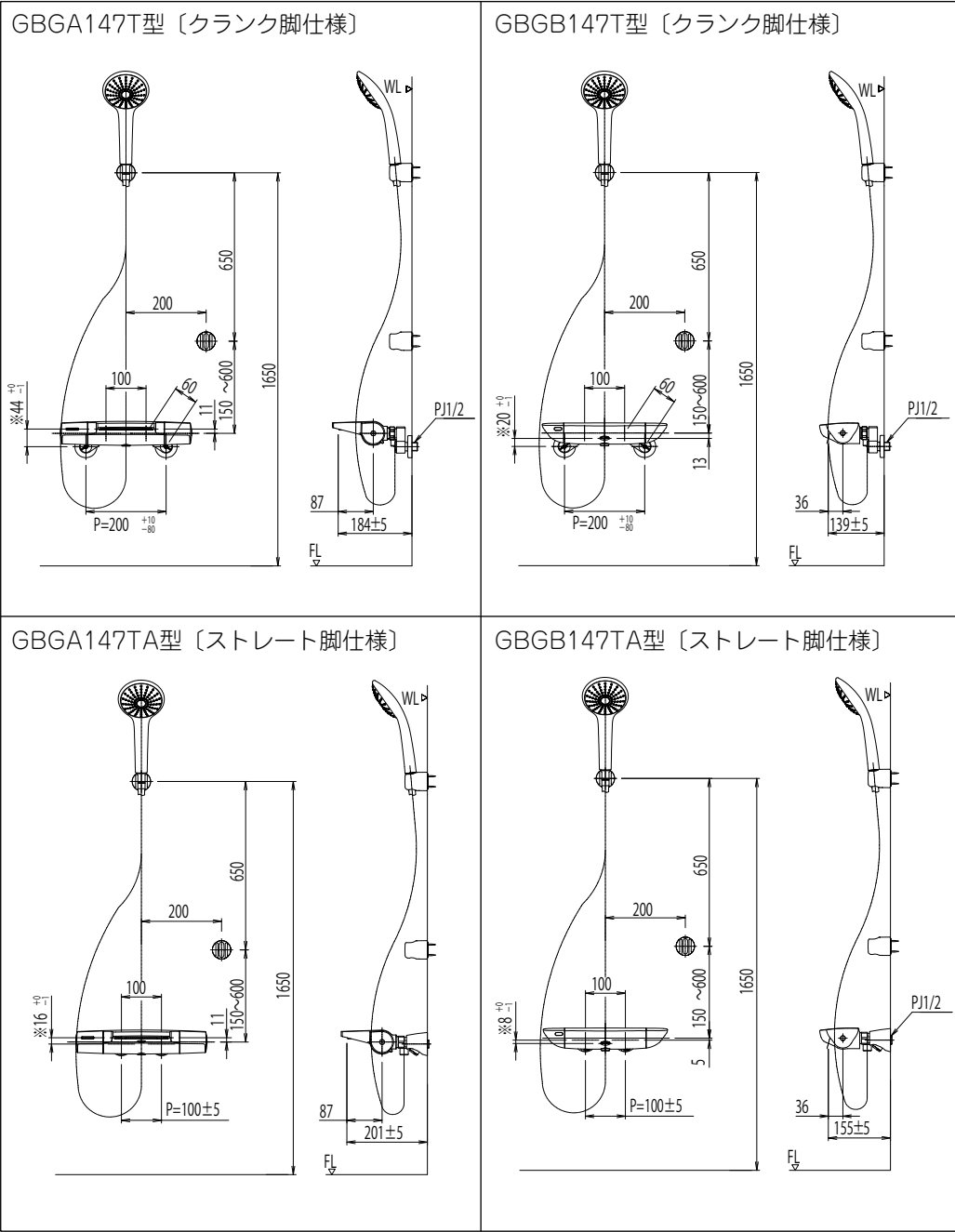
- 取付けには、プラスドライバー、マイナスドライバー、精密ドライバー(マイナス)、スパナ(呼び 30)が必要です。

その他の注意点

- 給水には水道水を使用してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
- 必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**

施工完了図

※品番によっては図と現品の形状が異なります。

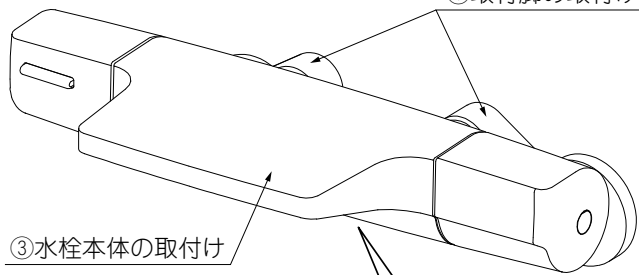


※印寸法は、配管ピッチ(P)が最大～最小の場合を（標準寸法 最大 最小）で示しています。

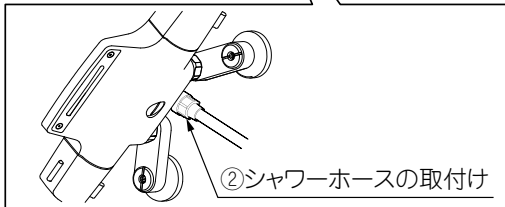
施工手順

クランク脚仕様

①取付脚の取付け



③水栓本体の取付け

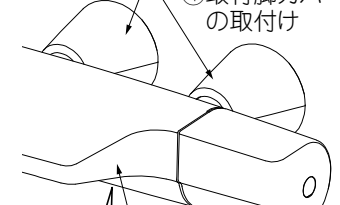


②シャワーホースの取付け

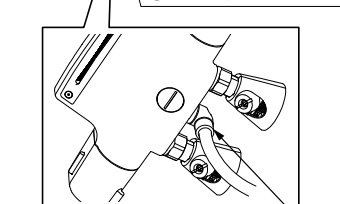
ストレート脚仕様

①取付脚の取付け

④取付脚カバーの取付け



③水栓本体の取付け



②シャワーホースの取付け

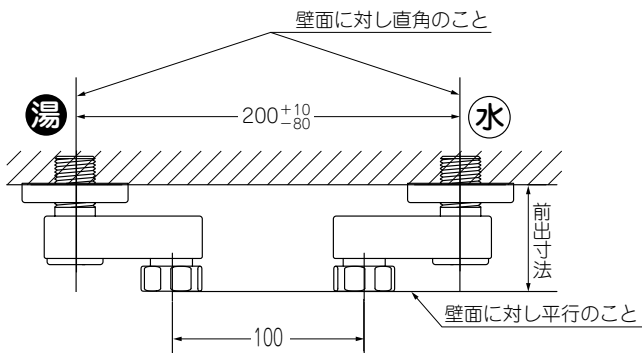
2. 施工方法

以下の手順通り、正しく取り付けてください。

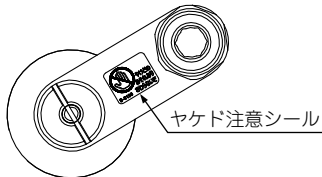
1 取付脚の取付け

〔クランク脚仕様〕

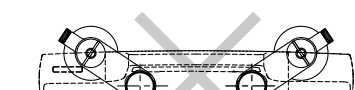
取付脚のねじにシール材（シールテープ等）を巻き付け、下図に従って取付脚を取付ける。



湯側に取り付け



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



ポイント

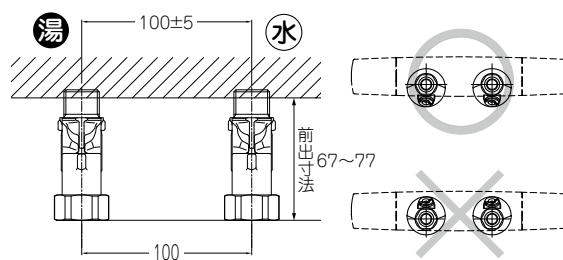
シールテープはねじ端面から一山外して、ねじの回転方向（時計回り方向）にシールテープ張力を加えながら、ねじ谷部に食い込ませるように巻き付ける（5～7巻き）。

注意

- 一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないでください。
※シール不良となり漏水の原因となります。
- ヤケド注意シールが貼り付けてある取付脚を湯側に取り付けてください。
- 寒冷地用の場合は必ず水抜栓が本体より下になるように取り付けてください。
※水抜栓が水栓本体より上になると、水抜きが出来ず、凍結や破損の原因となります。

〔ストレート脚仕様〕

取付脚のねじにシール材（シールテープ等）を巻き付け、下図の前出寸法が67～77mm（同梱の型紙で確認）となるように取り付ける。



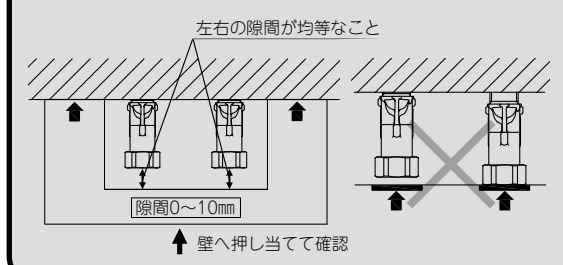
ポイント

シールテープはねじ端面から一山外して、ねじの回転方向（時計回り方向）へ巻き始め、シールテープに張力を加えながら、ねじ谷部に食い込ませるように巻き付ける（5～7巻き）。

注意

- 一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないでください。
※シール不良となり漏水の原因となります。
- 図中の前出寸法の範囲内で現場の配管状況に応じたねじ込み量を確保してください。
※前出寸法通りに取付けないと、カバーが取付けられない原因になります。
※ねじ込み量が足りないと、漏水、脱落の原因となります。

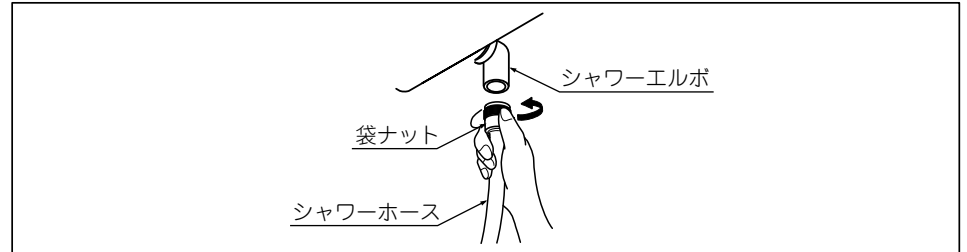
壁面に対し平行になるよう、同梱の型紙で確認しながら調整してください。



2

シャワーホースの取付け

下図に従って、シャワーホースをシャワーエルボに接続し、手締めでしっかりと固定する。



注意

- 袋ナットの締付けに工具を使用しないでください。
※工具を使用するとシャワーホースの袋ナットがキズついたり破損する恐れがあります。
- シャワーエルボは所定の角度範囲で回転するように調節してあります。工具等を用いて無理に締め込まないでください。
※シャワーエルボが破損する恐れがあります。

注意

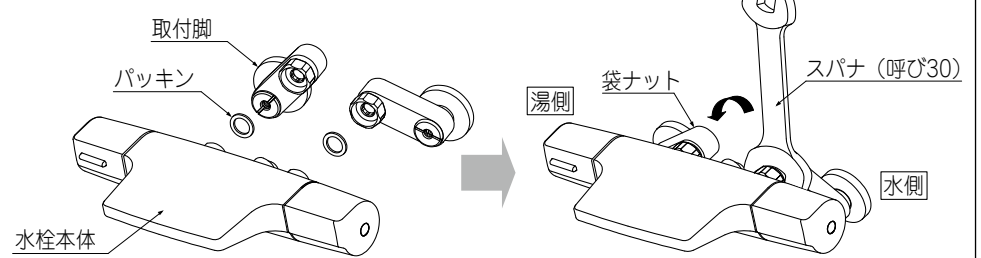
- 袋ナット内にパッキンが装着されていることを確認してください。
※パッキンが無いと漏水の原因となります。

3

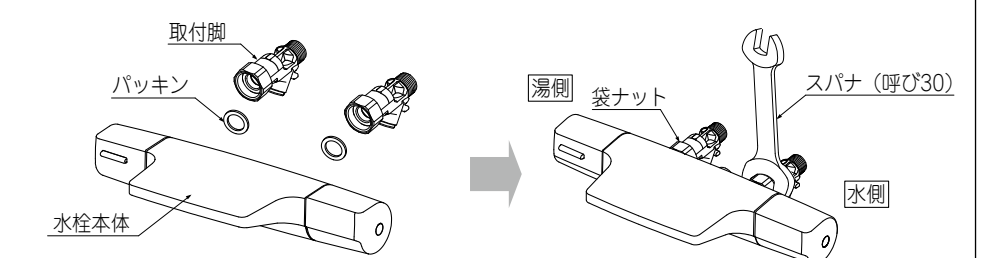
水栓本体の取付け

水栓重量に気をつけ水栓本体が水平になるように注意しながら、水栓本体を、スパナ（呼び30）で取付脚の袋ナットを締め付けて取り付ける。

クランク脚仕様



ストレート脚仕様



注意

- パッキンを紛失しないように注意してください。
※パッキンが無いと漏水の原因となります。
- 水栓本体が水平に取り付くように注意して取り付けてください。
※破損の原因となります。
- 取付脚が共回りしないようにしてください。

ポイント

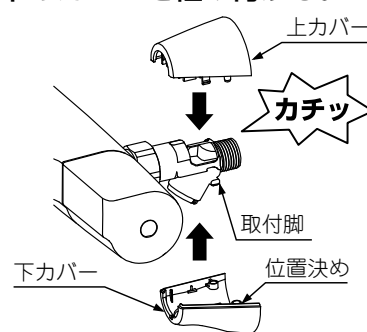
水栓が水平に取り付くように注意しながら、湯側、水側の袋ナットを交互に締め付け、しっかりと固定する。

4

ストレート脚仕様のみ 取付脚カバーの取付け

1.

上下のカバーを組み付ける。

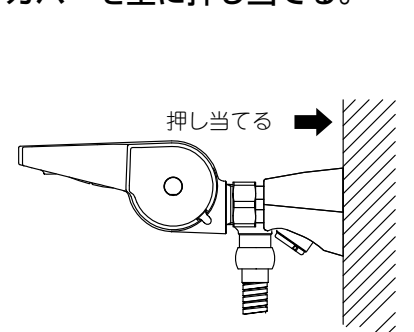


ポイント

上カバーを取付脚に固定し、位置決めに合わせて下カバーを組み付ける。

2.

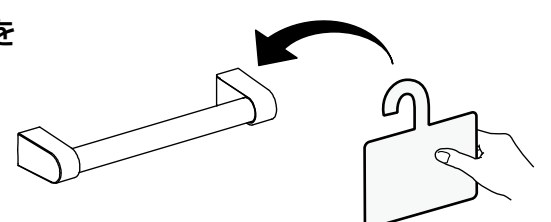
カバーを壁に押し当てる。



5

温度調節・水栓の使い方タグの設置

温度調節・水栓の使い方タグをタオル掛に引っかける。



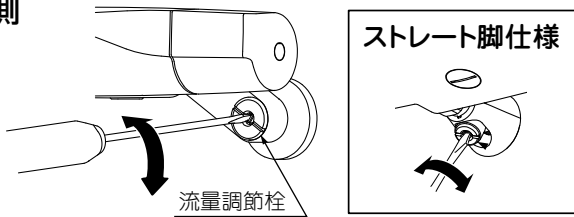
3. 施工後の調節

以下の手順通り、正しく調節してください。

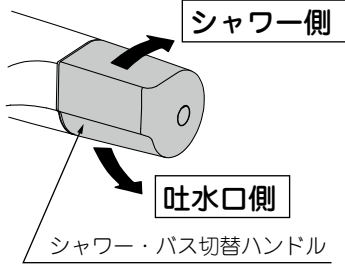
1 通水確認

通水確認を以下の要領で行ってください。

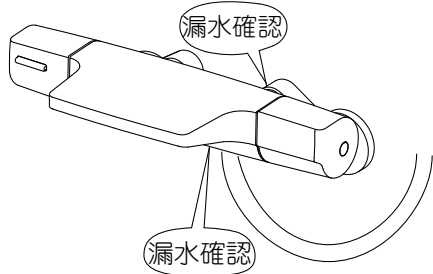
1. マイナスドライバーで湯側・水側の流量調節栓を開く。



2. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回し、吐水口から水が出ることを確認する。また、シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側（上）に回し、シャワーから水がでることを確認する。



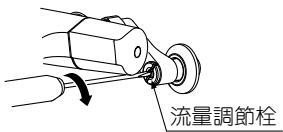
3. 水を止め、接続部から漏水がないことを確認する。



2 ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くために、取付脚のストレーナーの掃除を、以下の要領で行ってください。

1. マイナスドライバーで湯側・水側の流量調節栓を閉じる。



ストレート脚仕様

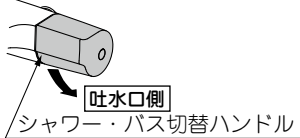


注意 作業前に湯側（左）の取付脚が熱くないか確認してください。
※ ヤケドの恐れがあります。

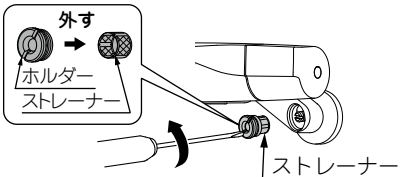
ポイント

- 湯側・水側の両方行うこと。
- 右側いっぱいまで回すこと。
- 閉じるときに、どの程度回転させたか覚えておくと清掃後の開度調整が容易になります。

2. 切替ハンドルを回し残水を排出する。



3. マイナスドライバーでホルダーを緩めストレーナーを取り外す。



【ストレート脚仕様（寒冷地（水抜き式）の場合）】

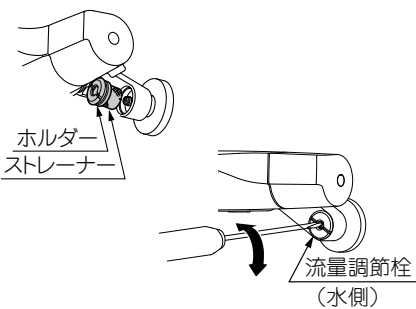
指でホルダーを緩めストレーナーを取り外します。
※ 固い場合は、ゴム手袋等を使用してください。



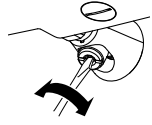
4. ストレーナーに付いたゴミや汚れをハブラシ等を使用し水洗いする。



5. ホルダーとストレーナーを取り付け、流量調節栓を元の位置まで開ける。



ストレート脚仕様



ポイント

- 流量調節栓は、必ずホルダーとストレーナーを取り付けた後に開けること。
- 湯側・水側の両方行うこと。
- 清掃後、流量が合わなくなった場合は、[4]「流量の調節」を行うこと。

3

給湯温度の設定

サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。
このため、給湯器の設定温度より、吐水温度は低くなります。

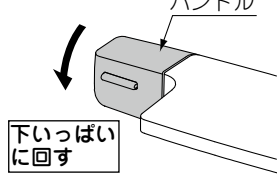
- 給湯器の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定してください。
※ 給湯温度は **50℃以上60℃以下** の設定をおすすめします。
ただし、ヤケド防止のため、60℃を超えない設定にしてください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が作動しない場合があります。
※ 給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認の上、ご使用ください。

4

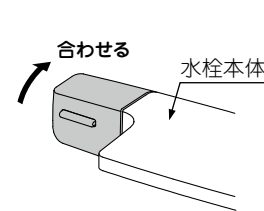
流量の調節

流量が多い場合は、湯側・水側の流量調節栓をそれぞれ次の手順で調節してください。

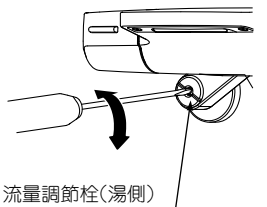
1. 温度調節ハンドルを水側（下）いっぱいに戻す。



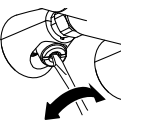
4. 温度調節ハンドルを水栓本体と水平になるように合わせる。



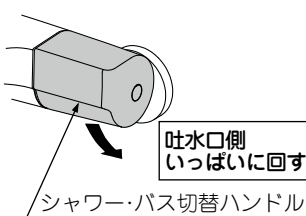
6. 水側と同様に湯側（左）の流量調節栓を調節する。



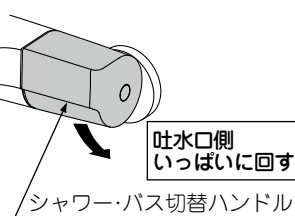
ストレート脚仕様



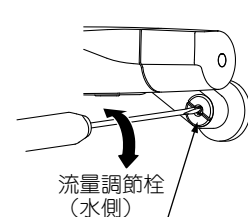
2. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側に回し、全開で吐出する。



5. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側に回し、全開で吐出する。

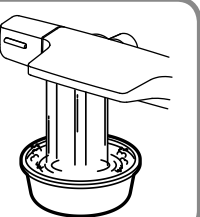


3. 水側（右）の流量調節栓を調節する。



調節の目安

市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約10秒弱（=20L/分程度）

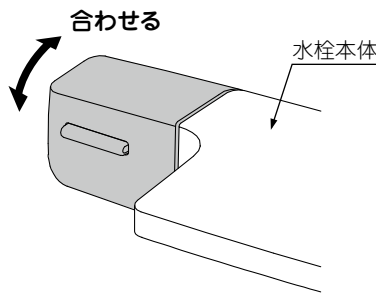


5

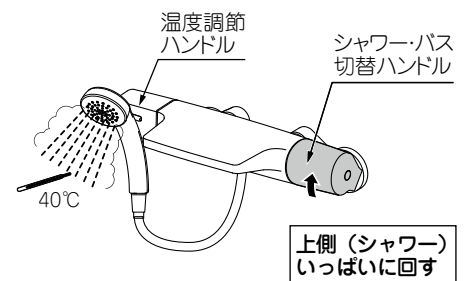
吐出温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの温度が出ないことがあります。
吐出温度が表示通りになっているか以下の要領で確認してください。

1. 温度調節ハンドルを水栓本体と水平になるように合わせる。



2. シャワー・バス切替ハンドルを上側（シャワー）いっぱいにして全開にし、吐出温度を確認する。



吐出温度が適温（約 40℃）である ■■■▶ そのままお使いいただけます。

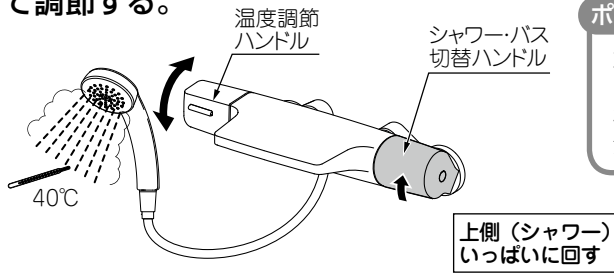
吐出温度が適温（約 40℃）から ■■■▶ [6] の「温度調節ハンドルの設定」の項を参照し、設定し直してください。

LIXIL修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、有料作業となります。

吐出温度と温度調節ハンドルの表示がズレている場合は、以下の手順で設定し直してください。

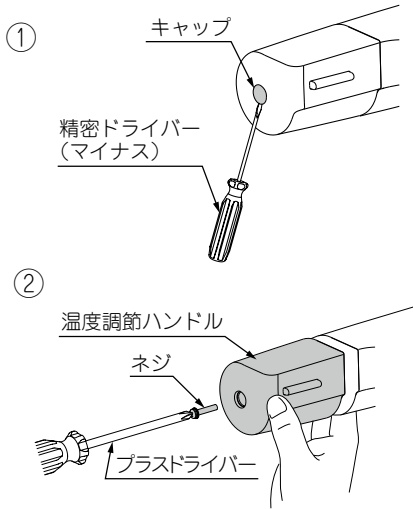
LIXIL修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、有料作業となります。

1. 吐出温度を適温(約40℃)に合わせます。シャワー・バス切替ハンドルを上側(シャワー)いっぱいにして全開にし、温度調節ハンドルの「水平」位置に関係なく吐出温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回して調節する。

**ポイント**

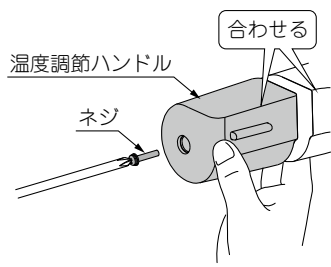
温度調節ハンドルを湯側に回すと「水平」位置付近で一度止まる。これより高温側に回したいときは安全ボタンを押しながら回すこと。

2. 吐出温度が適温(40℃)になったところで止水し、温度調節ハンドルが回らないように注意して、キャップ、ネジを外し、温度調節ハンドルを外す。



注意 キャップ・ネジを取り外す時は、慎重に取り外してください。
※無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因となります。
※ハンドルが重いので脱落に注意してください。

3. 外した温度調節ハンドルを水栓本体と水平になるようにはめ直し、ネジ、キャップを取付ける。



注意 固定後に約40℃の湯が出ることを確認してください。
※ヤケドをする恐れがあります。

ポイント

キャップを奥までしっかり挿入します。

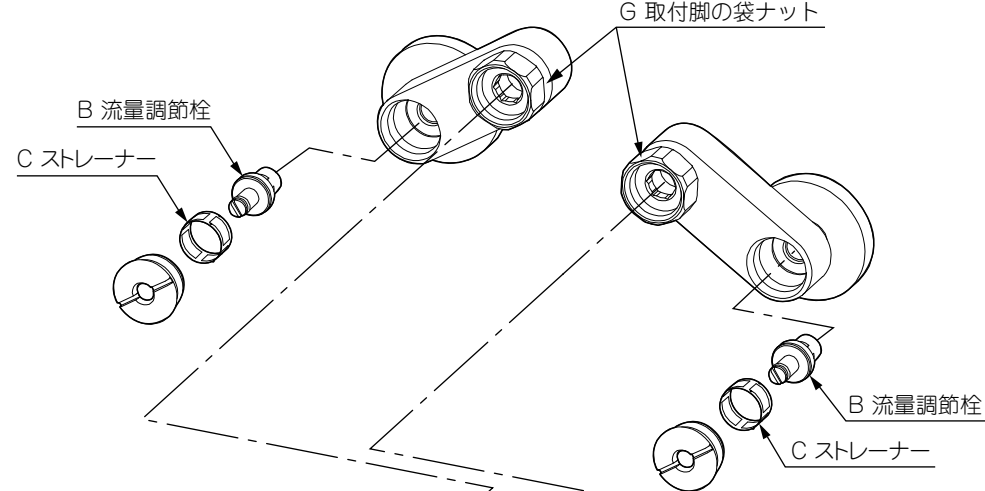
4. 引渡前の確認

お客さまに引渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。

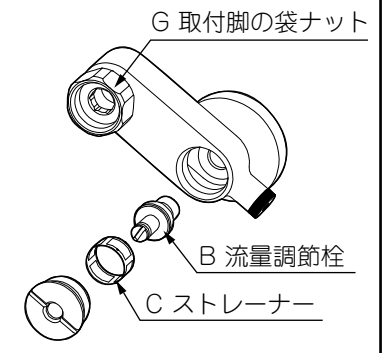
※点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置	参照項目
温度が安定しない、温度調節がうまくできない	圧力は十分か?	—	圧力条件を確認する。	施工の前に「本製品の仕様と使用条件」
	しばらく流しても改善しないか?	—	温度が安定するまでお湯を出し続けてから使用する。	
	他の場所(トイレ、キッチン、洗面など)で同時に水栓を使用していないか?	—	他の場所の水栓と同時に使用しないようにする。	
	給湯器の温度は正しく設定されているか?	—	給湯温度を50℃以上60℃以下の設定にする。	施工後の調整「吐水温度の確認」
	温度調節ハンドルの設定と吐水温度は合っているか?	A	温度調節ハンドルの再調整をする。	施工後の調整「吐水温度の確認」・「温度調節ハンドルの設定」
	流量調節はされているか?	B	適正流量に調節する。	施工後の調整「流量の調整」
	ストレーナーにゴミが詰まっているか?	C	ストレーナー汚れや目詰まりを取り除く。	施工後の調整「ストレーナーの掃除」
流量が少ない	給湯器の温度は正しく設定されているか?	—	給湯温度を50℃以上60℃以下の設定にする。	施工後の調整「吐水温度の確認」
	圧力は十分か?	—	圧力条件を確認する。	施工の前に「本製品の仕様と使用条件」
	流量調節部は十分に開いているか?	B	流量調節栓を十分開く。	施工後の調整「流量の調整」
	ストレーナーやシャワー散水板にゴミが詰まっているか?	C	ストレーナー汚れや目詰まりを取り除く。	施工後の調整「ストレーナーの掃除」 シャワーヘッド取扱説明書
	配管途中に大きな抵抗はないか?	—	抵抗となる障害物を取り除く。	
流量が多すぎる	切替ハンドルを絞りにすぎているか?	D	切替ハンドルを開く。	
	流量調節はされているか?	B	流量調節栓を絞る。	施工後の調整「流量の調整」
水が止まらない	ゴミかみはないか?	E	ゴミ等を水で洗い流す。	
	Oリング、シートにキズはないか?	E	キズがあれば部品を交換する。	
接続部から水漏れする	シャワーホース接続部から水が漏れているか?	F	シャワーホースの袋ナットをしっかり締める。	施工方法「シャワーホースの取付け」
	取付脚と本体の袋ナットから水が漏れているか?	G	取付脚の袋ナットをしっかり締める。	施工方法「水栓本体の取付け」
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か?(ゴミ、砂噛みはないか? Oリングにキズはないか?)	H	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交換する。	
水栓本体から音がする	流量調節栓を適切に絞っているか?	B	流量調節栓を絞る。	施工後の調整「流量の調整」
シャワーヘッドがフックから浮き上がる	流量調節栓を適切に絞っているか?	B	流量調節栓を絞る。	施工後の調整「流量の調整」
	シャワーフックの位置は正しいか?	—	シャワーフックの取付位置を確認する。	施工の前に「施工完了図」
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか?	G	取付脚の袋ナットをしっかり締める。	施工方法「水栓本体の取付け」

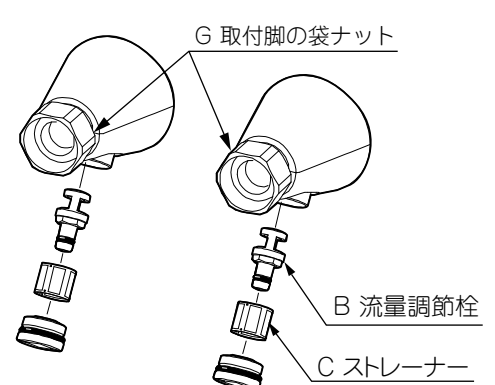
クランク脚仕様



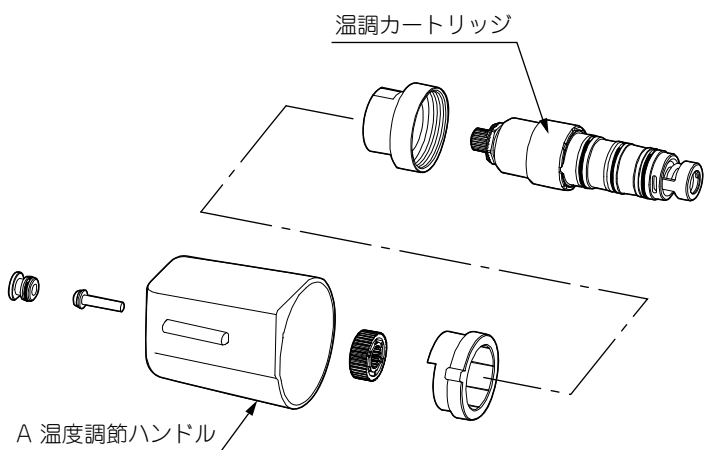
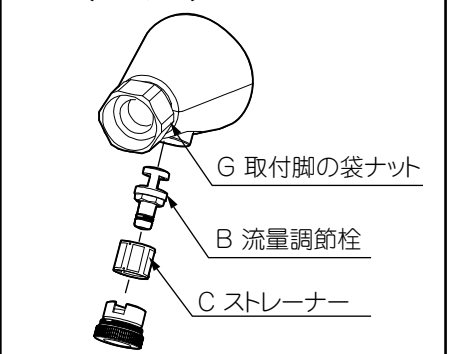
寒冷地(水抜仕様)の場合



ストレート脚仕様



寒冷地(水抜仕様)の場合

**ポイント**

固定ナット取り外し
別売専用工具(KG-47)で反時計回りに回して取り外す。

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。